

九州医師会連合会第125回定例委員総会



理事 白井 和美



令和5年8月26日、標記会議が長崎県にて開催されたので報告する。

次第に従い開会が宣言されたのちの挨拶では、まず、前九州医師会連合会長の分県医師会河野会長から、前年度の担当行事を無事終了できたことが報告されるとともに、各県のご協力への礼が述べられた。

次いで、今年度の九州医師会連合会長の長崎県医師会森崎会長から、担当県としての意気込みと各県へのご協力依頼を含むご挨拶があった。

来賓祝辞は4名が述べられた。松本日本医師会会長は、その中でマイナ保険証の導入は医療DXを勧めるために必要ではあるが、混乱を避けることが必至であり、資格証の有効期限を5年間に延長できたのは、日医の働きかけが一定程度理解された成果と考える、また新型コロナについては9月以降の加算の部分で延長が可能な範囲を広げるべく折衝中とされた。

横倉日本医師会名誉会長は、今年度末のトリプル改定に関し日本医師会の頑張りに期待すると述べられた。

今村日本医師会常任理事は、常任理事就任1年間の活動概要を報告され、医師会活動と医政活動が密接な関係にあることを改めて実感していると述べられた。

また、濱口常任理事からは、新常任理事としての抱負とともに組織力強化に特任として取り組み、近々各県を訪問し意見交換する予定であり、ご協力をお願いしたいとされた。

次いで、森崎会長を議長として、報告事項3件、協議事項7件について話し合われた。

報告事項は、当会議直前に開催された第410回常任委員会の内容と、令和4年度の九州医師会連合会の庶務、事業報告、その他で特に質問なく終わった。

協議事項は、令和4年度の九州医師会連合会の決算、令和5年度の同会事業計画・負担金・予算・監事選定に関する件、令和5年度第123回九州医学会事業計画・会費賦課に関する件で、いずれも意義なく原案通り承認された。

その他の議題はなく会議は終了した。

引き続き九州医連連絡会第24回執行委員会が行われ、会議終了後懇親会が開催された。久

しぶりの通常開催の懇親会で、大変和やかな時間を過ごせた。尚、ホテルニュー長崎の宴会部門の料理長は、比嘉氏という方で、当県の出身と思われるが、長崎県の立地を生かした大変美しくおいしいコース料理をご提供下さった。私が申すのも変かもしれぬが、うちなーんちゅのプライドがくすぐられるちょっとした出来事であった。

「命ぐすい耳ぐすい」/沖繩タイムス 「ドクターのゆんたくひんたく」/琉球新報 原稿募集のご案内

広報委員会では、県民の健康増進に資するため、沖繩タイムス及び琉球新報の紙面を借りて医療に関する情報を提供しております。

つきましては、会員の皆さまからの原稿を下記のとおり募集いたします。

なお、執筆内容が専門的な傾向にならないよう、文章全体のトーンとしては、一般の読者が親しみやすいように専門用語は出来るだけ控えた平易な表現でお願いします。

詳細は、沖繩県医師会庶務課の方へ
お問い合わせ下さい。

TEL : 098-888-0087

記

○掲載日

沖繩タイムス「命ぐすい耳ぐすい」

：第2・4 木曜日

琉球新報

「ドクターのゆんたくひんたく」

：第2・4 水曜日

○掲載要領

①字数：800字（本文のみ）

※各50字程度の字数増減可

※自院の紹介等、特定の医療機関に偏る表現・内容、イベントの告知等はお控え下さい。

※新聞掲載の採否については、広報委員会にご一任ください。

※掲載時期等については、原稿の到着状況によって変動しますので、原稿送付前に一度事務局までご連絡ください。